「つや姫」栽培管理情報第１号

H26.4.30　農業技術センター技術普及部

今年で「つや姫」の栽培が３年目を迎え、早いところでは田植えが始まるころになりました。今年も引き続き「収量・品質の向上と安定化」に向けた「つや姫」技術情報を提供していきます。

「つや姫」の生育状況等

４月上旬は最低気温が低く推移しましたが、苗の生育は概ね良好で、目立った病害虫の発生や生育障害はほとんどありません。

■　当面の管理ポイント
□健苗づくり
□田植え時期と植え付け株数
□地力にあった施肥設計
□除草剤の効果的な使用
□漏生イネに注意

※特別栽培基準を厳守！！

化学肥料の窒素成分量合計４ｋｇ／１０ａ以内
節減対象農薬の使用回数(成分)　１０回（成分）以下

具体的な対策

□健苗づくり

■育苗の温度・水管理の目安

	浸種	催芽	出芽	緑化期	硬化期
温度管理	10～15℃	30～32℃	30～32℃	昼間20～25℃ 夜間10℃以上	昼間10～20℃ 夜間10℃以上
日数目安	7日～10日 （積算水温100℃）	24時間	2日	ハウスの場合 4日	15日
水管理	－	－	・播種時に潅水	・緑化に移る際に潅水してあれば良い	・午前中に1回 ・午後に潅水が必要な場合は夕方遅くならないようにする

○５月以降は特に晴れの日の高温に注意！　早めの換気を心掛けましょう。
・気温が高くなると、苗ヤケや細菌病が発生し易くなります。

○潅水のやり過ぎや不足に注意！

・水のやり過ぎ、低温時や夕方遅くなってからの潅水は、根張りを悪くしたり、徒長の原因となるので注意しましょう。

・潅水の不足は葉先枯れや生育不良の原因になるので注意しましょう。

□田植え時期と植え付け株数

①田植えの適期は、５月上中旬頃です。

地力のないほ場では、茎数確保のため遅くならないよう注意しましょう。

②植え付け株数は６０株／坪（株間１８ｃｍ）程度が目安です。

極端な疎植は、減収や品質低下の原因になるので避けて下さい。

□地力にあった施肥設計

■施肥設計の目安（１０ａ当たり）

◎総窒素施量　　体系施肥５　ｋｇ
　　一発施肥６　ｋｇ

（但し、化学肥料の窒素成分量の合計４kg 以下）

①体系施肥の場合
- 基肥窒素成分量３　ｋｇ／１０ａ
- 穂肥窒素成分量２　ｋｇ／１０ａ

②一発施肥の場合　基肥窒素成分量６　ｋｇ／１０ａ

○体系施肥、一発施肥共に基肥窒素成分量は地力に合わせて増減。

低いほ場では 1kg/10a 程度増施 ⟺ 高いほ場では 1kg/10a 程度減肥

○側条施肥時の一発肥料の施肥量調節

（有機入り一発肥料は容積重が軽く粒が大きいため、側状施肥する場合、施肥機の調節目盛りどおりの肥料が落とせません。この対策として、**施肥機の施肥量目盛りを 15～20%程度多め**にすることで、施肥量の調節が可能です。田植え当初には、計画どおり肥料が落ちているか確認しましょう。）

□除草剤の効果的な使用

①雑草の発生初期の除草剤散布を徹底しましょう。

気温が高めに推移すると雑草の発生が早まり、低く推移すると発生が遅くなるので気象状況にも気を付けましょう。

②散布後の水管理は除草剤の特性に合った水管理を徹底しましょう。

そのためには、代かき、整地を丁寧に行い、田面を均平にしておくことが重要です。

□漏生イネに注意

前作に、「つや姫」以外の品種を栽培したほ場では、前作の品種が漏生イネとして生える事があります。ご注意ください。